

城下まちづくり計画



令和4年3月

城下まちづくり未来会議

目 次

1	地域の概要	1
	◆ 城下地域のあゆみ	
	◆ 城下地域の特性と課題	
2	地域の各種データ	3
3	城下まちづくり計画	5
	(1) まちづくりのビジョン	
	(2) 計画期間	
	(3) 推進団体・体制	
	(4) 計画の内容・施策	
4	参考資料	11
	城下まちづくり住民アンケート結果	



1 地域の概要

◆城下地域の歩み

明治 22 年(1889 年)4 月 1 日、町村制が施行され、小牧村、諏訪形村、御所村、中之条村の4村の地域をもって城下村が発足、城下地域の基礎が形成されました。これにより旧4村は、それぞれ小牧区、諏訪形区、御所区、中之条区となりました。

元々上田町と城下村の境界は、現在の千曲川左岸(南岸筋)ではなく、御所の地籍は千曲川北岸(現在の上田市文化交流施設サントミュージーゼの一部)まで含まれ、また、小牧の地籍は上田城の段下の小字鴨池地籍にも「飛び地」がありました。

城下村の名前の由来は、小牧地籍の「飛び地」、御所地籍に「城下河原」という字名があったことから付けられたとされています。

大正 8 年(1919 年)5 月 1 日、全国で 271 番目、県下では長野市、松本市について 3 番目の市として上田市が誕生しました。初代市長には、城下村諏訪形出身の細川吉次郎氏が就任しました。

城下村は、大正 10 年(1921 年)9 月 10 日、上田市に合併しました。合併当時の人口は 32,012 人、この内城下村の人口は、3,681 人でした。

城下村の誕生や同村の上田市への合併に至る経緯、各地域の事情などについては、最近まとめられた「御所のあゆみ」、「中之条誌」、「諏訪形誌」に詳しく記載されています。

かつての農村地域が、上田町からの主要道路(現在の主要地方道長野上田線)の整備を契機に、商工業に携わる方が多く住まれる三好町が形成され、城下町上田の千曲川左岸地区への都市化の延長、拡大の変遷がうかがえます。

因みに、三好町の名称は、諏訪形、御所、中之条の三者が仲良くまちづくりを進めることを念願し、命名されたといわれています。

時代が大正から昭和へ推移する中で、都市化の更なる拡大、人口増により区の再編や新自治会が発足し、現在の9自治会(小牧、諏訪形、須川、中村、朝日ヶ丘、三好町、御所、中之条、千曲町)により構成される城下地域へと発展しました。

◆城下地域の特性と課題

私たちが住んでいる城下地域には、歴史風土、自然環境、文化財はじめ様々な特性があります。

一昨年、城下まちづくり未来会議が行った「住民アンケート」に寄せられましたご意見を基に、地域の特性を次のようにまとめました。

- (1) 千曲川、小牧山、東山など自然資源に恵まれた地域
- (2) 歴史と文化に富んだ地域
- (3) 主要地方道長野上田線(旧国道 143 号)、主要地方道上田丸子線等の幹線道路、加えて別所線が通る交通利便性が高い地域
- (4) 幹線道路沿いに商業施設が立地する生活し易い地域
- (5) 学校施設、保育園が充実し、住宅化が進み利便性が高い地域

こうした特性に対し、アンケート結果を基に、地域課題を次のように集約しました。

- (1) 高齢者福祉の充実、医療環境の整備
- (2) 農地と宅地の混在、農地の荒廃が進む地域、農地と山林の維持管理
- (3) 住宅化が進む中で、増加する空き家対策
- (4) 生活道路の整備
- (5) 防犯防災対策

このうち、特に(5)の防犯防災対策については、令和元年10月に発生した台風19号災害を踏まえ、各自治会に共通する最重要課題となっています。



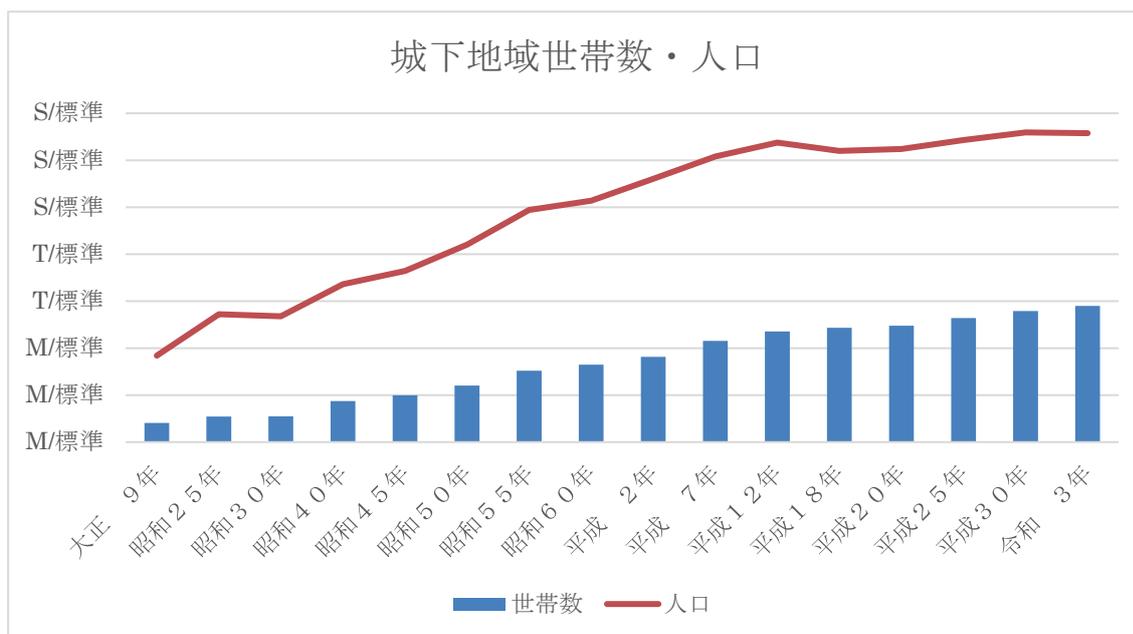
2 城下地域の各種データ

◆ 人口と世帯数

(大正9年から平成12年までは国勢調査の数値、平成18年から令和3年は住民基本台帳の数値による。)

(各年とも10月1日現在 ※大正9年を除く。)

年	世帯数	人口
大正 9年	817	3,681
昭和25年	1,091	5,444
昭和30年	1,098	5,358
昭和40年	1,745	6,723
昭和45年	1,990	7,289
昭和50年	2,405	8,407
昭和55年	3,038	9,885
昭和60年	3,296	10,276
平成 2年	3,628	11,207
平成 7年	4,310	12,162
平成12年	4,713	12,753
平成18年	4,865	12,400
平成20年	4,954	12,478
平成25年	5,279	12,858
平成30年	5,578	13,185
令和 3年	5,796	13,153



◆ 高齢化率

城下地域の人口及び高齢化率

年	65歳以上 人口(人) (A)	総人口(人) (B)	高齢化率 (A) / (B)	75歳以上 人口(人) (C)	総人口(人) (D)	高齢化率 (C) / (D)
令和元年	3,396	13,301	25.53%	1,827	13,301	13.74%
令和2年	3,398	13,228	25.69%	1,843	13,228	13.93%
令和3年	3,425	13,153	27.69%	1,827	13,153	13.89%

◆ 地域資源

《上田市の文化財》

○建造物

- ・市指定 荒神宮本殿 文久3年 諏訪形

○石造物

- ・市指定 荒神宮石造五輪塔 鎌倉時代 諏訪形

○史跡(古墳)

- ・市指定 船窪古墳群 7世紀後半 諏訪形西山
- ・市指定 タタラ塚古墳 古墳時代後期 諏訪形東山

《公園》

○都市公園

- ・川西公園(御所) ・千曲町公園(千曲町) ・中之条緑地(千曲町)
- ・城下公園(御所) ・御所公園(御所) ・城南公園(中之条)
- ・諏訪形公園(諏訪形) ・須川公園(須川)

《スポーツ施設》

- 諏訪形グラウンド(諏訪形)

《ため池》

- 須川湖(須川)

《山・川》

- 小牧山
- 千曲川

《その他》

- 上田電鉄別所線

《景観》

- 小牧山から市街地を望む
- 千曲川と烏帽子岳
- 千曲川から眺めた「日の出」と「夕暮れ」
- 上田橋から見た別所線(鉄橋)

3 城下まちづくり計画

130年余を越える城下地域のあゆみ、先人の皆様の御努力により培われた「地域の財産」を、私たちは次世代に引き継ぐ使命があります。

そのためには、地域の諸課題の解決に向け、地域一丸となって努力をすることが必要と考えます。

住民の皆様が生活されている地域内で解決可能な課題に対しては、これまでと同様に各自治会単位で対応することが基本です。

しかしながら、前述した城下地域の課題は、各自治会に共通するものであるとともに、一自治会だけで対応することが難しい広域的な課題です。

加えて、この課題解決に当たっては、城下地域全体の視点から住民、関係団体・機関など多様な皆様が連携協働し、取り組むことが不可欠です。

こうしたことから、城下地域全体のまちづくりを担う機関である城下まちづくり未来会議は、その指針となる「城下まちづくり計画」を作成しました。

計画に位置付けた事業及び施策は、第1期のスタートに当たり「今できること、すべきこと」を基軸に厳選し、まとめました。

なお、これら事業、施策については、適時での効果の検証や、見直しを行うものであることを付記します。

(1) まちづくりのビジョン

① 活力あふれ、生活を支えるまちづくり

城下地域の特性を活かした、活力あふれるまちづくりと、幹線道路や住環境等住民の生活を支えるインフラの整備、充実に向けた取り組みを進めます。

② とともに支え合うまちづくり

城下地域に暮らす一人ひとりの住民が、日々幸せを感じ、お互いが支え合うまちづくりを進めます。

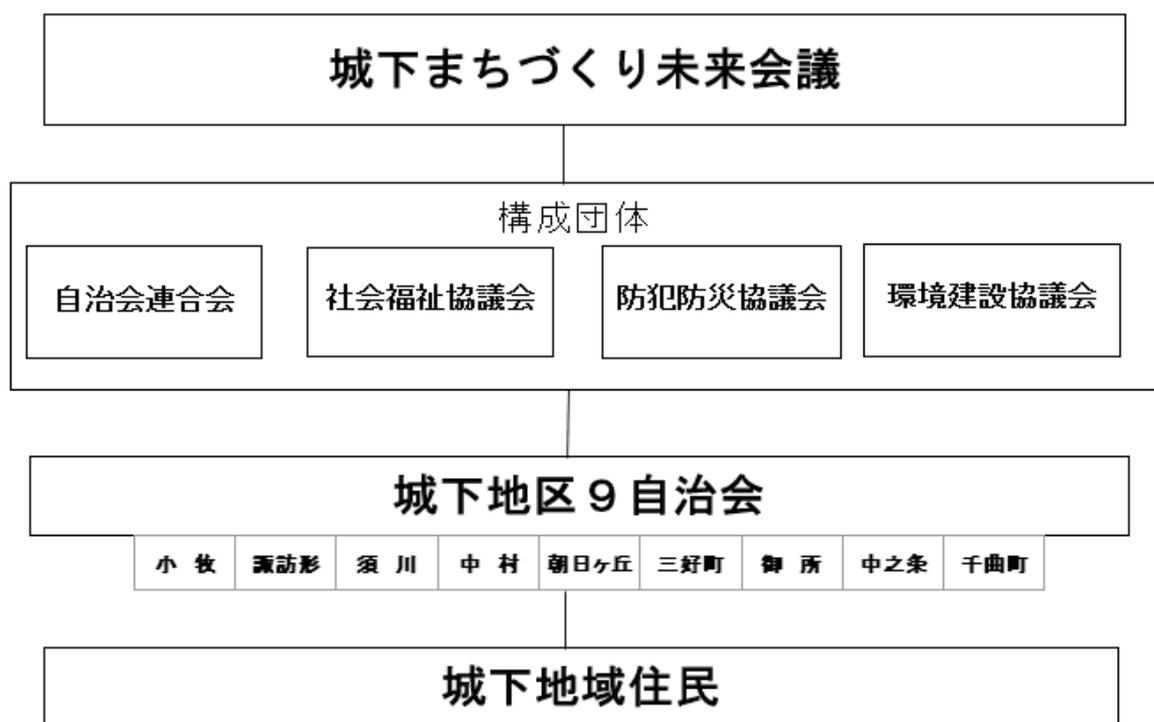
③ 安全安心なまちづくり

地球温暖化に起因する集中豪雨等の災害、巨大地震等の自然災害に対応した防災、減災への取り組みを進めます。

(2) 計画期間

令和4年度から令和8年度までの5年間

(3) 推進団体・体制



(4) 計画の内容・施策

◆ 活力あふれ、生活を支えるまちづくり

基本的方向

① 活力あふれるまちづくりの推進

平成 29 年 6 月新たな住民自治組織として、城下まちづくり未来会議(以下「未来会議」と称します。)が設立されました。

未来会議は、当地域の自治会連合会、社会福祉協議会、防犯防災協議会、環境建設協議会の 4 団体により構成されています。

地域の住民、各自治会、NPO、企業など幅広い関係者と連携・協働して魅力あるまちづくりを進めます。

〈主な施策〉

・城下地区自治会連合会、城下地区社会福祉協議会、城下地区防犯防災協議会及び城下地区環境建設協議会の活動を支援します。

・上田市、長野県ほか行政機関、上田市社会福祉協議会などの関係団体の協力を得て、城下地域全体の課題解決に向けた取り組みを進めます。

・広報紙「城下まちづくり通信」、ホームページなどを通して、未来会議の活動状況をお知らせし、住民参加によるまちづくりを進めます。

・城下地域と隣接する川辺泉田地域とは地域特性を同じくし、共通の課題を有しています。こうしたことから、城下地域の発展に資する観点から、川辺泉田まちづくり協議会と連携して、その課題解決に向けた取り組みを進めます。

② 生活を支えるまちづくりの推進

地域に暮らす一人ひとりの住民生活を支える道路網、上下水道などのインフラ(社会資本)の整備・充実は、継続して取り組むべき重要課題です。

各自治会においては、毎年その解決に向け上田市ほか関係行政機関に対する要望活動等を行ってきていますが、それぞれの自治会の枠を越えた広域課題に対しては、十分な対応ができ得ていない状況にあります。

城下地区環境建設協議会が中核となり、城下地域全体にわたる生活環境の整備に向けた取り組みを進めます。

〈主な施策〉

- 城下地域の主要道路と水路の整備、災害防止対策、教育環境の整備等の広域的な課題について、上田市、長野県ほか行政機関への要望活動を推進するとともに、最終解決に至るまでの進行管理や行政との連絡調整に努めます。
- 山間地にある須川地区に係るインフラ整備(県道、市道、農業用水路等)の課題について上田市等へ要望活動を行い、その解決に向け取り組みます。
- 城下地区自治会連合会と地域の共通課題を共有し、その解決に向け、研究を進めます。



◆ ともに支え合うまちづくり

基本的方向

住民ひとり一人が自ら支える福祉力の充実・強化の実現を目指し、城下地区社会福祉協議会を構成する地区民生児童委員協議会、福祉推進協議会が中核となり、地域の福祉課題解決に向けた取り組みを進めます。

上田市社会福祉協議会と連携を図り、各自治会・支部社協活動への支援活動を進めます。

城下地域包括支援センターが進めている高齢者の総合相談、支援体制づくり、介護予防の援助など地域内でともに助け合う体制づくりを支援します。

〈主な施策〉

① 共に支え合うまちづくり事業

・実行委員会を組織し、城下地区内 25 個所での一斉街頭活動「城下あいさつ・声かけ運動」を推進します。

・事前にチラシの全戸配布、横断幕を設置するなどのPR活動に努めます。

・城下地区の自治会単位(支部社協)で取り組んでいる「住民支え合いマップ」の作成、地域ふれあい事業(サロン活動、世代間交流、会食会、福祉・健康講座、子育て支援、友愛訪問など)、福祉活動への支援を行います。

② 上田市社会福祉協議会との連携事業(地区社協事業)

・城下地区社会福祉協議会が中核となり、次の取り組みを進めます。

- A) 城下地区お結びサポーター事業の支援
- B) 城下地区住民会議(福祉講演会)の開催
- C) 上田市社会福祉大会への参画
- D) 先進地視察研修

③ 城下地域包括支援センターとの協働事業

・包括支援センターが取り組んでいる介護サービス、保健福祉サービスなど事業全般への支援として、地域住民への啓発活動を推進します。

◆ 安全・安心なまちづくり

基本的方向

① 防災への取り組み

地球温暖化に伴う気候変動により、近年毎年のように大規模の自然災害が発生しています。

特に、令和元年の台風 19 号により城下地域において甚大な被害が発生し、その対応に大変苦慮しました。

この経験を踏まえ、将来の災害への事前の備え、減災に繋がる地域防災力の向上と災害対応力の強化に努めます。

〈主な施策〉

- ・地域防災力の向上と災害対応力の強化を進めるためのマスタープランとなる「城下地区防災計画」を策定します。
- ・同計画に沿って、個別の指針となる広域避難場所運営マニュアル、自治会別自主避難計画などの見直しを行います。
- ・上田市消防団第 6 分団、各自治会と連携・協働し、広域的な防災訓練を実施します。
- ・城下地区防災センターに地域防災備蓄庫を設置するなど、同センターの防災機能の充実・強化を図ります。

② 防犯への取り組み

活動スローガン「地域のきずなで 安全・安心なまちづくり」のもと、防犯意識の高揚と絆づくりの推進に努めます。関係機関・団体と連携・協働して、地域の防犯活動に取り組みます。

〈主な施策〉

- ・川辺町交番の協力を得て、自治会、防犯指導員等と連携・協働し広報、啓発活動を進めます。
- ・防犯パトロール、地域安全活動(春、夏)、特別警戒活動(年末等)の実施、防犯研修会の開催等を進めます。

4 参考資料

城下まちづくり住民アンケートの自治会別集約結果

アンケート項目 あなたが感じる城下地区の魅力や特性は何だと思えますか？

(上位3項目)

小牧自治会

- 1 環境に恵まれ閑静な集落
- 2 自然災害が少ない
- 3 首都圏へのアクセスが良い

諏訪形自治会

- 1 自然災害が少ない
- 2 環境に恵まれ閑静な集落
- 3 学校施設、保育園等が充実している

須川自治会

- 1 環境に恵まれ閑静な集落
- 2 近所付き合いにまとまりがある
- 3 自然豊かで日照時間が長い

中村自治会

- 1 学校施設、保育園等が充実している
- 2 環境に恵まれ閑静な集落
- 3 自然災害が少ない

朝日ヶ丘自治会

- 1 環境に恵まれ閑静な集落
- 2 自然災害が少ない
- 3 首都圏へのアクセスが良い 自然豊かで日照時間が長い

三好町自治会

- 1 自然災害が少ない
- 2 首都圏へのアクセスが良い
- 3 学校施設、保育園等が充実している

御所自治会

- 1 自然災害が少ない
- 2 環境に恵まれ閑静な集落
- 3 自然豊かで日照時間が長い

中之条自治会

- 1 自然災害が少ない
- 2 環境に恵まれ閑静な集落

- 3 学校施設、保育園等が充実している

千曲町自治会

- 1 自然災害が少ない
- 2 環境に恵まれ閑静な集落
- 3 自然豊かで日照時間が長い

アンケート項目 城下地区の課題やあなたが不安に思っていることをお聞きします

(上位3項目)

小牧自治会

- 1 高齢者の福祉と医療環境
- 2 農地・山林の維持管理
- 3 防犯・防災

諏訪形自治会

- 1 高齢者の福祉と医療環境
- 2 通院や日常の買い物が不便
- 3 生活道路の整備

須川自治会

- 1 空き家の増加
- 2 人口減少で自治会運営が困難
- 3 農地・山林の維持管理

中村自治会

- 1 高齢者の福祉と医療環境
- 2 通院や日常の買い物が不便
- 3 空き家の増加

朝日ヶ丘自治会

- 1 空き家の増加
- 2 人口減少で自治会運営が困難
- 3 高齢者の福祉と医療環境

三好町自治会

- 1 人口減少で自治会運営が困難
- 2 空き家の増加
- 3 防犯・防災

御所自治会

- 1 高齢者の福祉と医療環境
- 2 防犯・防災
- 3 通院や日常の買い物が不便

中之条自治会

- 1 交通量の増加
- 2 防犯・防災
- 3 生活道路の整備

千曲町自治会

- 1 防犯・防災
- 2 高齢者の福祉と医療環境
- 3 生活道路の整備

*アンケート実施後に、台風 19 号による災害が発生しました。加えて現下の新型コロナウイルス禍により、自然災害や防犯・防災、医療環境等への対応が最重要課題となっております。



